

二酸化炭素削減量計算シート（太陽光発電システム）

導入する太陽光発電システムの設備容量を記入してください。
蓄電池のみを設置する場合は既存の太陽光発電システムの設備容量を記入してください。

太陽光発電システム		
発電能力 (蓄電池のみ設置する場合は 既存の太陽光発電システムの 設備容量を記入)	設備容量	4.80 kW
	年間発電量 ※1	5,761 kWh
ゼロカーボン推進総合補助金で太陽光設備の導入有無		導入なし
自家消費率 ※2		20 %
排出係数	電力 ※3	0.553 kg-CO ₂ /kWh
設備設置に伴う自家消費におけるCO ₂ 削減量		637 kg-CO ₂

※1 年間発電量は定格出力 (kW) × 13.7% (太陽光発電 (10kW未満) の設備利用率) × 24 (時/日) × 365 (日/年) で算定。

※2 自家消費率はゼロカーボン推進総合補助金で太陽光発電及び定置用蓄電池を導入した場合は50%、定置用蓄電池のみ設置した場合は20%で設定

※3 電力の排出係数は「令和5年度家庭部門におけるCO₂排出実態統計調査 調査について (確報値)」の「表7 他人から供給された電気の使用に伴うCO₂排出係数」の北海道電力の令和5年度基礎排出係数を使用

	は記入してください。
	は▼から選択してください。
	は自動で入力されます。

二酸化炭素削減量計算シート（高効率給湯暖房機）

区分	既存機器		入替後機器		
	給湯	暖房	給湯	暖房	コージェネレーション設備
メーカー	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	
型番	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	
機器種別	電気	灯油	エコフィール		
※既存機器の性能が不明の場合は「既存機器性能不明」を選択し、欄外(※1)で記載の効率をB欄に記載【A欄】	既存機器性能不明		現行機器の性能が分かる場合は【A欄】は空欄で構いません。		
熱効率/エネルギー消費効率/年間給湯保温効率（ハイブリッドの場合電気のエネルギー消費効率を入力）【B欄】	0.90 %は小数点で記入してください。	0.83	0.95	0.95	
熱効率/エネルギー消費効率/年間給湯保温効率（ハイブリッドの場合ガスの熱効率を入力）	※本項目はハイブリッドの場合のみ記入となります。				
発電能力	発電出力				kW
	熱出力	発電能力はコージェネレーション設備を設置する場合に記入してください。			kW
	ガス消費量（LHV）				kW
発熱量 ※2	電力				3.6 MJ/kWh
	LPG				50.08 MJ/kg
	灯油				36.49 MJ/L
排出係数 ※2	電力				0.553 kg-CO ₂ /kWh
	LPG				3.01 kg-CO ₂ /Kg
	灯油				2.50 kg-CO ₂ /Kg
CO ₂ 排出量（電気）	171 kg-CO ₂ /KJ	185 kg-CO ₂ /KJ	162 kg-CO ₂ /KJ	-	
CO ₂ 排出量（ガス）	67 kg-CO ₂ /KJ	72 kg-CO ₂ /KJ	63 kg-CO ₂ /KJ	63 kg-CO ₂ /KJ	-
CO ₂ 排出量（灯油）	76 kg-CO ₂ /KJ	83 kg-CO ₂ /KJ	72 kg-CO ₂ /KJ	72 kg-CO ₂ /KJ	-
CO ₂ 排出量 ※3	171 kg-CO ₂ /KJ	83 kg-CO ₂ /KJ	72 kg-CO ₂ /KJ	72 kg-CO ₂ /KJ	kg-CO ₂ /h
（コレモ：入替前CO ₂ 排出量）					kg-CO ₂ /h
CO ₂ 削減効果	給湯 57.89 %		暖房 13.25 %		%
CO ₂ 削減量 ※4	498 kg-CO ₂		223 kg-CO ₂		kg-CO ₂
CO ₂ 削減量合計					721 kg-CO ₂

※1 既存機器の性能が不明の場合（【A欄】で「既存機器性能不明」を選択した場合）は下記に該当する機器の数値（性能）を【B欄】に記載すること。

【給湯】
○電気温水器：0.90 ○ガス給湯器：0.82 ○石油給湯器：0.87
【暖房】
○電気ボイラー：0.90 ○灯油ストーブ、ガスストーブ：0.86、○電気蓄熱暖房機：0.85

※2 発熱量及び排出係数は「令和5年度家庭部門におけるCO₂排出実態統計調査 調査について（確報値）」の「表6 熱量換算係数・CO₂排出量算定のための排出係数」及び「表7 他人から供給された電気の使用に伴うCO₂排出係数」から算定した数値を使用。

※3 ハイブリッド給湯器の稼働比率は電気：ガス＝7：3として算定。コージェネレーション設備におけるLPGの燃料消費量は1kW＝14kg/h（発熱量50.08MJ/kg÷3.6MJ/h）として算定。

※4 家庭から排出されるCO₂排出量は「令和5年度家庭部門におけるCO₂排出実態統計調査 資料編（確報値）」の「地方別世帯当たり年間用途別CO₂排出量・構成比」の北海道のCO₂排出量から、給湯は860kg-CO₂/世帯、暖房機は1,680kg-CO₂/世帯として、CO₂削減量を算定。

- は記入してください。
- は▼から選択してください。
- は自動で入力されます。

二酸化炭素削減量計算シート（エアコン）

※本シートはエアコンを買替える場合に提出してください（新規でエアコンを設置する場合は提出不要です）。

区 分	エアコン	
	既存機器	入替後機器
メーカー	〇〇	〇〇
型番	〇〇	〇〇
冷暖房対応畳数	8 畳用	8 畳用
期間消費電力	800 kWh	700 kWh
排出係数（電力） ※1	0.553 kg-CO ₂ /kWh	
CO ₂ 排出量	442 kg-CO ₂	387 kg-CO ₂
CO ₂ 削減量	55 kg-CO ₂	
CO ₂ 削減効果	12.44 %	

カタログ等に記載されている対応畳数を記入してください。

カタログ等に記載されている期間消費電力を記入してください。

※3 電力の排出係数は「令和5年度家庭部門におけるCO₂排出実態統計調査 調査について（確報値）」の「表7 他人から供給された電気の使用に伴うCO₂排出係数」の北海道電力の令和5年度基礎排出係数を使用

は記入してください。

は自動で入力されます。